

日本ビジネスコミュニケーション学会 ニュースレター

第 8 号

2010年10月31日

新会長に絹巻康史顧問、副会長に川島彪秀顧問が就任されました！

高坂節三会長が公務多忙により会長職を辞され、新に絹巻康史顧問（元拓殖大学教授・研究所長、国際商取引学会元会長）が新会長に就任されました。また、副会長職には川島彪秀顧問（国際コミュニケーション科学学会会長・日本大学名誉教授）が就任されました。

高坂会長には学会発足時より特別なご指導を賜りました。ここに会員一同謹んで御礼申し上げます。

11月27日（土）です！ 第1回関東支部大会プログラムの紹介

前号でご案内しましたが第1回関東支部大会が11月27日（土）に拓殖大学文京（茗荷谷）キャンパスで開催されます。プログラムが決まりましたのでご紹介致します。関西支部が既に昨年から活発に活動を続けていますが、この度関東支部も設立が決まりましたので支部大会を開催することになりました。

記念すべき第1回大会ということもあり、プログラムは講演、報告、特別講演、シンポジウムなど全国大会なみに多彩に企画しました。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

また、当日の午前中は11月13日の1次選考で21チームから選ばれた6チームの2次選考があります。こちらの方も応援してください。

第1回関東支部大会プログラム

開催日 : 11月27日（土）

開催場所 : 拓殖大学文京キャンパスC404教室

地下鉄丸の内線茗荷谷駅下車徒歩5分（会場まで）

学生発表 10:00～12:00 6チーム（一次選考終了チーム）

2次選考

—

受付 : 12:00 開始

開会式 : 13:00～13:15 開会挨拶（支部長）、会長挨拶、理事長挨拶、学生発表表彰式

講演 13:15～14:15 「CSRの原点を探る ― 杉原ビザとユダヤ難民の人的輸送 ―」

北出 明 元・国際観光振興機構参与

第二次世界大戦下、ナチス・ドイツの迫害を逃れようと必死のヨーロッパ脱出を試みていたユダヤ人に対し、本国（外務省）の訓令に背いて日本通過ビザを発給し、6000人もの命を救ったと言われる杉原千畝・在リトアニア副領事の話は余りにも有名です。しかし、それらのユダヤ人難民がどのようにして日本にたどり着き、その後アメリカなどへ渡って行ったかを知る人は多くありません。ましてや、彼らの逃避行を助けたのが、現在のJTBの前身である「ジャパン・ツーリスト・ビューロー」であったことは殆ど知られていません。現代史に埋もれた秘話をご披露し、併せて、杉原ビザでアメリカに逃れ、現在もそれぞれの分野で活躍しているユダヤ人をご紹介します。

報告 14:15～15:00 「ISO14001環境マネジメントシステム ― 実践と認証取得 ―」

関口勝宏 ケイエス マネジメント ジャパン代表
英国IEMA登録環境主任審査員
元群馬大工学部非常勤講師

近年、組織（企業、各種団体）を取り巻く環境リスクはますます多様化し環境リスクの低減及び環境への貢献活動の重要度が増しております。ISO国際標準化機構が発行した環境マネジメントシステムISO14001の規格は、環境対策を継続的改善するためPDCAサイクルを導入し、環境方針／計画／実施及び運用／点検／マネジメントレビューの各項で構成されています。具体的には、事業活動が環境に与える影響を洗い出し、著しい環境影響を特定し、関連法規制への適合を確実にします。また、著しい環境影響を改善するための目的・目標と、これを達成するためのプログラムを策定し、継続的改善のため定期的に評価を行います。第三者の審査登録機関が評価し、ISO14001の要求事項に適合した時、はじめて登録され認証を取得します。

特別講演 15:10～16:10

「経営戦略とビジネスインテリジェンス― 戦略的情報活用力の学びと実践 ―」

中川十郎 日本大学大学院グローバルビジネス研究科講師
日本ビジネスインテリジェンス協会会長
東京経済大学経営学部・大学院前教授

ビジネスインテリジェンス (BI)とは高度経済・経営情報のことで、BIの戦略的活用について、情報の収集、選別、評価、分析、伝達、情報監査などについて発表します。BIは、①既存のビジネスの拡大、深耕 ②新規ビジネス・事業の創出 ③リスク(危険)、クライシス(危機)管理 ④重要情報の機密保持、などに必須のツールであります。これらについて20年の研究に基づき、ケーススタディも交えながら実践的かつ戦略的経済・経営情報活用の実例を報告いたします。

シンポジウム 16:20～17:50 司会：井手芳美

「今求められる社会人基礎力 ― 企業研修・大学教育で何を育成すべきか ―」

16:20～16:50 発題者： 別府信太郎（株）トラストコーペレーション代表取締役
16:50～17:50 パネリスト： 4～5名（野村証券他、企業人事担当者、大学教員）

経済産業省が2006年から提唱している『社会人基礎力』について、企業人事担当者や大学の教育現場などから有識者を招き討論します。今年6月に経済産業省が行った調査によると、今後『社会人基礎力』の指標や概念を「採用」や「社員育成」に活用していきたいと考える企業が7割にも上る今、企業が人材に何を求め、教育現場では実際どのような取り組みが行われているかなど、具体的な事例を交えパネリストの方にご報告いただきます。企業と人材の意識の差が雇用のミスマッチに発展する中、今後企業と教育現場が『社会人基礎力』の評価と育成をどのように推し進めていけばよいか、道筋を話し合います。

閉会式 17:50～17:55

懇親会 18:10～20:00 C館7階 ラウンジ

支部大会と懇親会のご参加申込み

支部大会は午後1時から5時55分までですが、午後6時10分から懇親会を開催します。参加者の皆様がお互いに意見交換、情報交換する場となれば幸いです。準備の都合もありますので、下記要領で「支部大会参加」と「懇親会参加」を支部事務局までお申し込み下さい。

- 関東支部大会

日時：11月27日13時～17時55分 場所：C館404教室

大会参加費：会員は無料（当日入会可）、非会員は2000円、学生無料

- 懇親会

日時：11月27日（土）午後6時10分～8時 場所：C館7階ラウンジ

懇親会費：2500円

- 申込み

申込み期限：11月18日（木）（やむを得ない事情がある時は当日も受付ます）

申込み方法：メールにて参加者のお名前を関東支部事務局 rkitade@ner.takushoku-u.ac.jpまで

**21 チーム参加の学生発表大会が開催されます。
応援をお願いします。無料です。**

第1次審査 平成22年11月13日(土)13:00～17:00 拓殖大学文京C館

第2次審査 平成22年11月27日(土)10:00～12:00 拓殖大学文京C館

審査方法：第1次審査で21の参加チームから6チームを選考し、27日の第2次審査で最優秀賞1，優秀賞2を選ぶ。審査員特別賞1を与えることができる。

発表時間：1チーム20分（発表15分、質問5分）

発表方法：パワーポイントを使用

会場：拓殖大学文京キャンパス 発表はC403，C405，C406

主催：拓殖大学コミュニケーション研究会

後援：日本ビジネスコミュニケーション学会

拓殖大学コミュニケーション研究会 論文発表会 プログラム

日時：2010年11月13日（土）
13：00～17：00

場所：拓殖大学 文京キャンパス
C館 403, 405, 406 教室

拓殖大学コミュニケーション研究会
後援：日本ビジネスコミュニケーション学会(ABCJ)

拓殖大学コミュニケーション研究会 論文発表会スケジュール

日 時	内 容	場 所
12 : 00 ~ 13 : 00	受 付 集 合	C 館 403 C 館 403
13 : 10 ~ 13 : 25	開 会 式	C 館 403
13 : 30 ~ 13 : 50	発 表 1	C 館 403,405,406
13 : 50 ~ 14 : 10	発 表 2	C 館 403,405,406
14 : 10 ~ 14 : 30	発 表 3	C 館 403,405,406
14 : 30 ~ 14 : 40	休 憩	
14 : 40 ~ 15 : 00	発 表 4	C 館 403,405,406
15 : 00 ~ 15 : 20	発 表 5	C 館 403,405,406
15 : 20 ~ 15 : 50	発 表 6	C 館 403,405,406
15 : 50 ~ 16 : 10	発 表 7	C 館 403,405,406
16 : 10 ~ 16 : 30	休 憩	
16 : 30 ~ 16 : 50	講評および結果発表	C 館 403
16 : 50 ~ 17 : 00	閉 会 式	C 館 403
		審査員控室 C 館 503

発表学生へ

1. 12 時 30 分までに受け付けを済ませ、使用機器の使い方などを確認しておいてください。
2. 発表時間は質問時間 5 分を含め 20 分です。準備時間も含まれます。タイムマネジメントは発表者が行ってください。20 分を過ぎた場合は、途中で止める場合があります。
3. 発表を始める際に、必ず発表タイトルと発表者名を述べてください。

第 1 グループ C 館 403 教室

- 1) 語らない男おとこ語る男おとな—サッポロビールのCMから読み取る日本人男性の言説と進化—
(鄭ゼミ) 木伏雄亮・武田和希・小峯雅隆
- 2) 復活させられた「坂本龍馬」—グローバル社会の要請と日本の返答—
(鄭ゼミ) 儀間直人・橋本祐也・ディペンドラ・タカリ
- 3) 日本人の女性と韓国人の女性、どっちがより美人ですか?—メディア・「韓流」と記号化される女性の身体性—
(鄭ゼミ) 金美沿・鷺尾亜矢
- 4) 「在日」韓国人と「来日」韓国人の異文化対話—周縁化される「他者」のアイデンティティ—
とまなざし—
(鄭ゼミ) 徐実菜・森田宇紀・山口美朝
- 5) 「モンスターペアレント」の誕生—地域・家庭・メディアコミュニケーション—
(鄭ゼミ) 宇佐美友理・磯辺友美・渡辺佳菜子
- 6) 自分の部屋さえ公共的空間とする現代から読みとる理想と虚構の行方と空間の意義
(鄭ゼミ) 宇佐美晃平・加藤博人
- 7) あなたは「キャバ嬢」に憧れますか? —メディア・ディスコースの身体性におけるポリテクス—
(鄭ゼミ) 野口卓磨・水川太貴・竹藤麻里花

第2グループ C館 405 教室

- 1) ネットミュージック界における販売戦略
(北出ゼミ) 須藤春菜・秋山真希・白井宏美・清水彰
- 2) CSRと社会の秩序
(北出ゼミ) 石塚直樹・花井宏行・田辺旭
- 3) ワンクリックな人間関係—SNSにおける「場」・「空間」と「コミュニケーション」—
(鄭ゼミ) 荒井研祐・毛利元彦・曹爾超
- 4) なぜ若者が「昭和」を懐かしいと感じるのか?—集合的記憶としての「昭和」が語りだす現代
コミュニケーション—
(鄭ゼミ) 榎並知美・田中政行
- 5) 私は“非モテ”?—現代コミュニケーション学から読み解く「非モテ」の行方—
(鄭ゼミ) 古山優志・胡瑛・楊成娟
- 6) はたして「歴女」は歴史が好きなのか!?—社会的アイデンティティを求める女性の欲望—
(鄭ゼミ) 美波知治・武藤賢二郎・山本和也
- 7) 日中間の異文化経営
(北出ゼミ) 中村竜也・李エンラン・李俊清

第3グループ C館 406 教室

- 1) 同じ企業内でも国外の支社ではコミュニケーションは違うの？
(北出ゼミ) 曾根沙弥香・小島未友輝・山崎恵・スー欣芸・ハン琳
- 2) 外資系ホテルの成長戦略
(北出ゼミ) 竹谷尚也・大武清勝・須戸大規・瀬上亮
- 3) 会議におけるファシリテーション技術の重要性
(長尾ゼミ) 内藤真之介・清水雅也 関聡一郎・鈴木達也・吉田光重
- 4) コミュニケーションスタイルにおける意思決定までのプロセス
(北出ゼミ) 松下駿也・高山祐司・窪川春香・安藤瀬里香
- 5) AKB48 の経営戦略
(北出ゼミ) 春原貴通 ・田中匠・山口明
- 6) 企業での日本人と外国人のコミュニケーションの相違点
(北出ゼミ) 池田亜美・矢萩美加・柴田洋子
- 7) SNSはコミュニケーションをどう変えたかーサザエさんがSNSをー
(長尾ゼミ) 平下佳奈・三浦正洋・吉川聡・今恵・松本悠・佐藤大樹

<拓殖大学コミュニケーション研究会論文発表会運営委員>

北出 亮 rkitade@ner.takushoku-u.ac.jp

鄭 偉 z_wei72@hotmail.com

長尾 素子 mnagao@ner.takushoku-u.ac.jp